



法人企業景気予測調査

(令和6年4-6月期調査)

近畿財務局管内分

令和6年6月13日

財務省 近畿財務局

【お問い合わせ先】

財務省近畿財務局総務部経済調査課

電話：06-6949-6377（ダイヤルイン）

目次

調査要領等	1
1. 企業の景況	2
2. 雇用	4
3. 売上高・経常利益	6
4. 設備投資	7
5. 近畿・全国比較	8
（参考1）企業の景況判断 BSI 業種別計数表	9
（参考2）従業員数判断 BSI 業種別計数表	10
（参考3）売上高・経常利益・設備投資 業種別計数表	11
（参考4）設備投資のスタンス、資金調達方法	12
（参考5）大阪府下の調査結果	13

【調査要領等】

1. 調査の根拠と目的

本調査は、経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく一般統計調査として四半期毎に実施している。

2. 調査時点

令和6年5月15日（前回調査 令和6年2月15日）

3. 調査対象期間

- (1) 判断調査項目 令和6年 4～6月期（又は 6月末）見込み
令和6年 7～9月期（又は 9月末）見通し
令和6年 10～12月期（又は 12月末）見通し
- (2) 計数調査項目 令和6年度実績見込み

4. 調査対象企業の範囲

当局管内2府4県に所在する資本金、出資金又は基金（以下、「資本金」という。）1千万円以上の法人。ただし、電気・ガス・水道業及び金融・保険業は資本金1億円以上を対象とする。

5. 集計方法

判断調査項目、計数調査項目ともに単純集計を行っている。

6. 標本企業の選定方法及び調査票の回収状況

標本は、四半期別法人企業統計調査の標本などから、一定の方法により選定を行う。

調査対象企業による自計記入方式とし、郵送による提出もしくはオンライン入力により回答を得ている。

なお、毎年4～6月期調査前に標本の抽出替えを行っている。

（調査対象企業数・回収率）

	全産業			製造業			非製造業		
	標本 企業数	回収 企業数	回収率 (%)	標本 企業数	回収 企業数	回収率 (%)	標本 企業数	回収 企業数	回収率 (%)
全規模	2,268	1,900	83.8	902	773	85.7	1,366	1,127	82.5
大企業	645	609	94.4	300	277	92.3	345	332	96.2
中堅企業	577	501	86.8	200	182	91.0	377	319	84.6
中小企業	1,046	790	75.5	402	314	78.1	644	476	73.9

（注）大企業：資本金10億円以上

中堅企業：資本金1億円以上10億円未満

中小企業：資本金1千万円以上1億円未満

なお、本文で「全産業」のみの記載は「全規模の全産業」を示す。

7. 業種分類

日本標準産業分類に基づき業種分類を行っている。

（参考：BSIについて）

BSI（ビジネス・サーベイ・インデックス）とは、前期と比較した変化方向別の回答社数構成比から、先行きの経済動向を予測する方法である。

例：「企業の景況判断」の場合、前期と比べて

「上昇」と回答した企業の構成比…40.0% 「不変」と回答した企業の構成比…25.0%

「下降」と回答した企業の構成比…30.0% 「不明」と回答した企業の構成比…5.0%

BSI = （「上昇」と回答した企業の構成比 40.0%）

－ （「下降」と回答した企業の構成比 30.0%） = 10%ポイント

1. 企業の景況

- 全産業の現状判断は「下降」超 -

(大企業、中堅企業、中小企業いずれも「下降」超)

6年4～6月期の企業の景況判断BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比、原数値)をみると、全産業は「下降」超となっている。

製造業では、鉄鋼、はん用機械など、ほとんどの業種で「下降」超となっていることから、全体では「下降」超となっている。

非製造業では、不動産、情報通信など、ほとんどの業種で「下降」超となっていることから、全体では「下降」超となっている。

規模別では、大企業、中堅企業、中小企業いずれも「下降」超となっている。

先行きについて、6年7～9月期は、大企業、中堅企業は「上昇」超、中小企業は「下降」超で推移する見通しとなっている。

企業の景況判断BSI(原数値)

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比：%ポイント)

区 分		6年1～3月 (前回調査時) 現状判断	6年4～6月 現状判断	6年7～9月 見通し	6年10～12月 見通し
全規模	全 産 業	(△ 8.7)	(1.4) △ 6.5	(5.0) 2.1	6.6
	製 造 業	(△ 14.8)	(1.8) △ 9.4	(5.9) 3.2	10.6
	非製造業	(△ 4.3)	(1.1) △ 4.5	(4.3) 1.3	3.9
大企業	全 産 業	(△ 2.4)	(2.2) △ 0.8	(7.9) 8.2	8.0
	製 造 業	(△ 7.8)	(0.7) △ 3.2	(8.9) 9.7	12.6
	非製造業	(2.2)	(3.5) 1.2	(7.0) 6.9	4.2
中堅企業	全 産 業	(△ 6.7)	(6.1) △ 5.0	(8.1) 3.8	6.6
	製 造 業	(△ 8.9)	(11.2) △ 6.0	(11.7) 4.9	14.8
	非製造業	(△ 5.4)	(3.2) △ 4.4	(6.1) 3.1	1.9
中小企業	全 産 業	(△ 14.5)	(△ 2.1) △ 11.9	(0.9) △ 3.7	5.6
	製 造 業	(△ 23.4)	(△ 2.4) △ 16.9	(0.3) △ 3.5	6.4
	非製造業	(△ 8.0)	(△ 1.9) △ 8.6	(1.3) △ 3.8	5.0

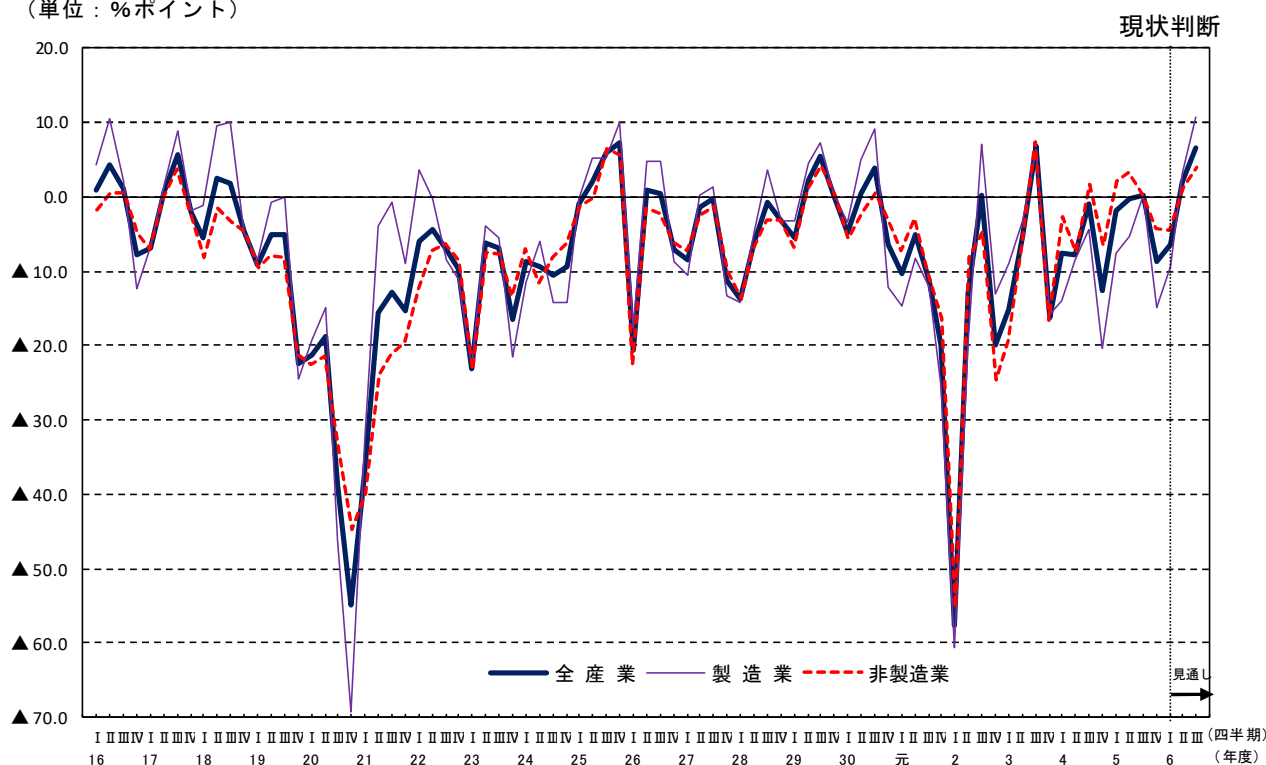
(注1) 回答社数：1,900社

(注2) ()は前回(令和6年1～3月期)調査結果

企業の景況判断BSIの推移(原数値)

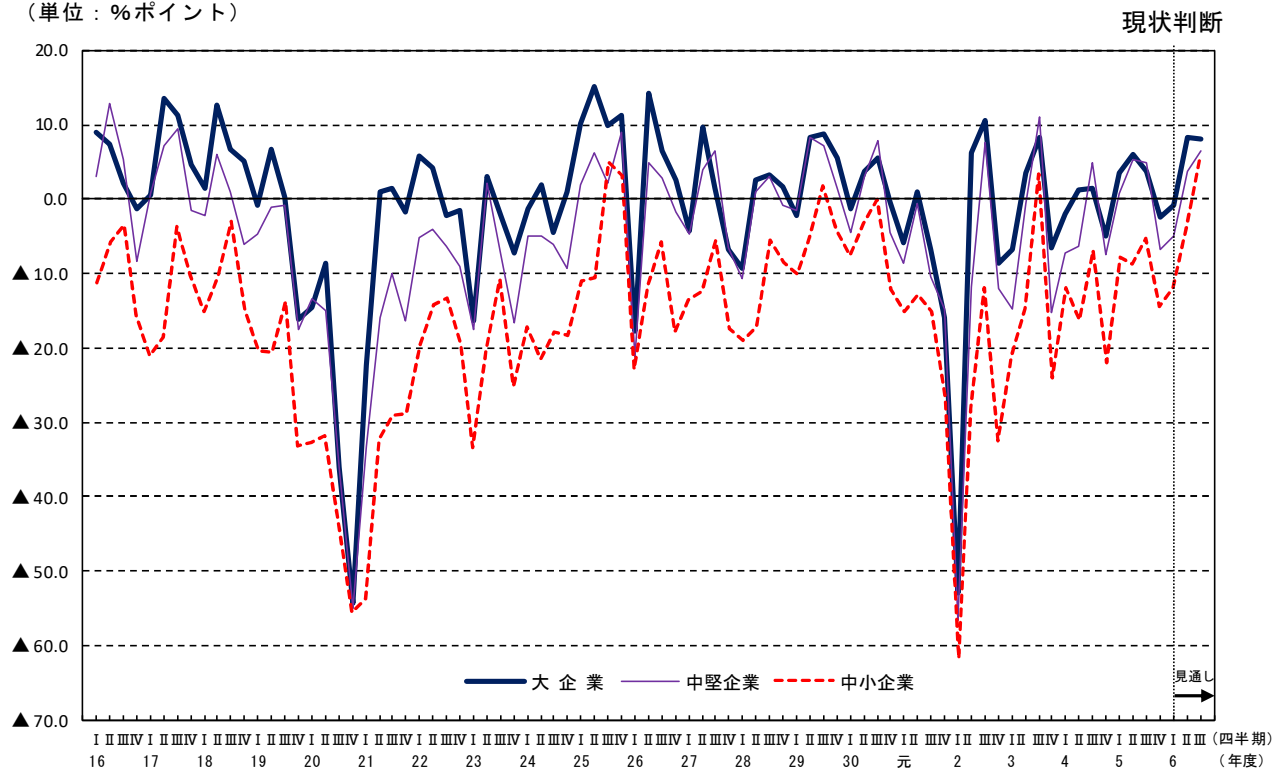
①産業別

(単位：%ポイント)



②規模別

(単位：%ポイント)



2. 雇用

－ 全産業の現状判断は「不足気味」超 －

6年6月末時点の従業員数判断BSI（期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比、原数値）をみると、全産業は「不足気味」超となっている。

製造業では、化学、金属製品など、ほぼ全ての業種で「不足気味」超となっていることから、全体では「不足気味」超となっている。

非製造業では、建設、卸売など、全ての業種で「不足気味」超となっている。

規模別では、大企業、中堅企業、中小企業いずれも「不足気味」超となっている。

先行きについて、6年9月末は、全産業で「不足気味」超で推移する見通しとなっている。

従業員数判断BSI（原数値）

（期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比：％ポイント）

区 分		6年3月末 (前回調査時) 現状判断	6年6月末 現状判断	6年9月末 見通し	6年12月末 見通し
全規模	全産業	(31.2)	(26.5) 29.4	(23.8) 27.1	25.7
	製造業	(24.9)	(22.8) 23.8	(20.8) 22.3	19.7
	非製造業	(35.8)	(29.1) 33.2	(26.0) 30.4	29.8
大企業	全産業	(23.9)	(19.4) 23.8	(16.3) 22.2	19.5
	製造業	(14.9)	(12.3) 18.5	(8.9) 17.4	13.0
	非製造業	(31.7)	(25.6) 28.4	(22.7) 26.2	25.0
中堅企業	全産業	(40.1)	(34.0) 36.3	(28.6) 33.7	32.0
	製造業	(41.6)	(37.1) 33.7	(32.0) 33.1	29.8
	非製造業	(39.3)	(32.1) 37.8	(26.6) 34.0	33.3
中小企業	全産業	(31.1)	(27.0) 29.2	(26.4) 26.8	26.4
	製造業	(24.2)	(23.6) 22.7	(24.5) 20.4	19.7
	非製造業	(36.1)	(29.5) 33.6	(27.8) 31.0	30.8

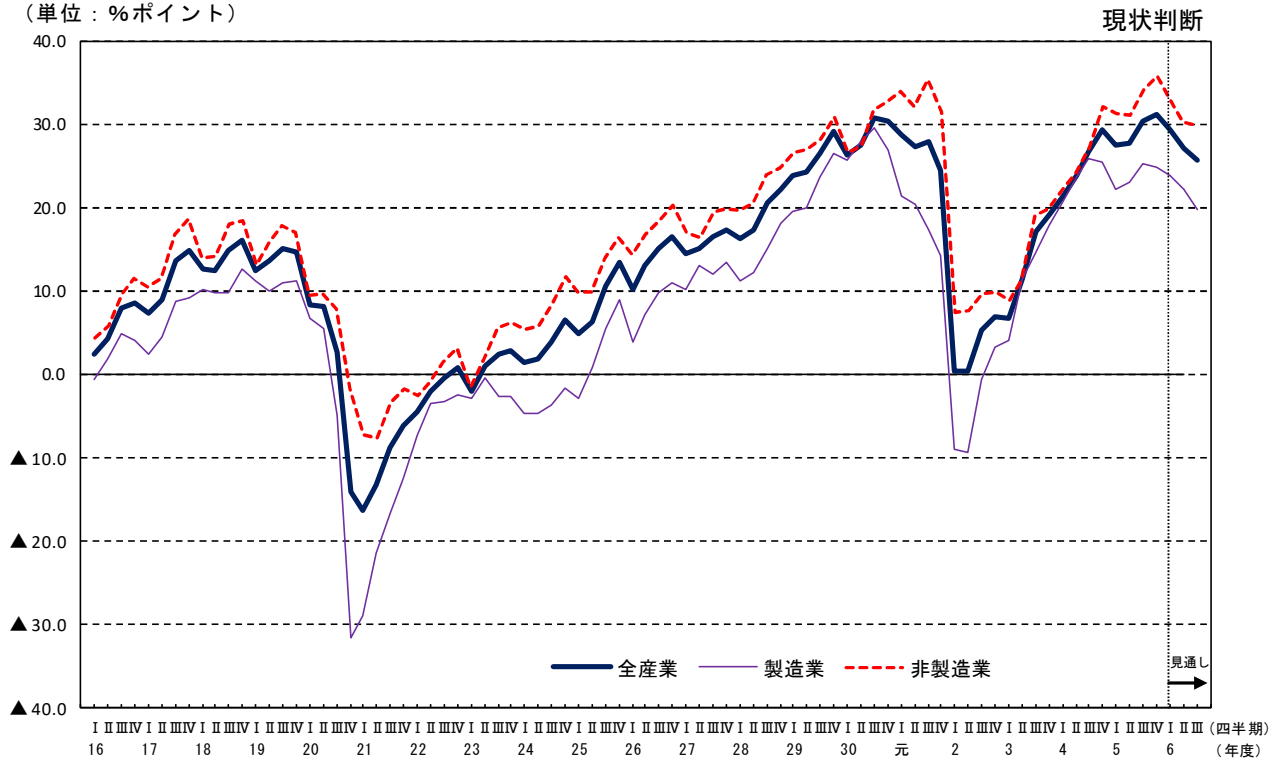
（注1） 回答社数：1,870社

（注2） （ ）は前回（令和6年1～3月期）調査結果

従業員数判断BSIの推移(原数値)

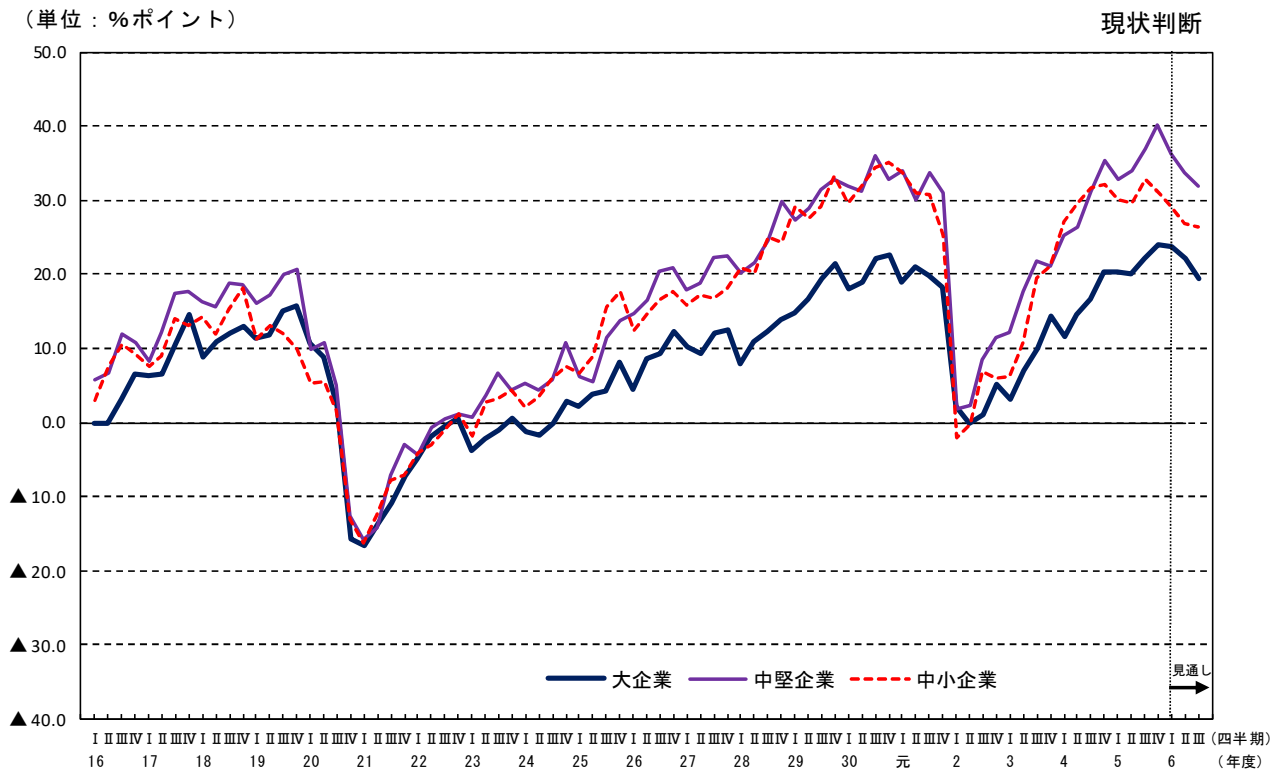
①産業別

(単位：%ポイント)



②規模別

(単位：%ポイント)



3. 売上高・経常利益(除く電気・ガス・水道、金融・保険)

－ 6年度の売上高は7.6%の増収見込み、経常利益は△12.1%の減益見込み －

① 売上高

6年度の売上高は、全産業で7.6%（対前年度増減率、以下同じ。）の増収見込みとなっている。

製造業では、化学、鉄鋼など、ほとんどの業種で増収となることから、全体では3.7%の増収見込みとなっている。

非製造業では、建設などが減収となるものの、卸売、運輸・郵便などが増収となることから、全体では10.4%の増収見込みとなっている。

(対前年度増減率：%)

	全規模			
	大企業	中堅企業	中小企業	
全産業	7.6	8.2	3.1	0.5
製造業	3.7	4.0	2.0	△ 0.3
非製造業	10.4	11.1	3.9	1.7

(注) 5・6年度ともに回答があった企業(1,261社)を基に単純集計

② 経常利益

6年度の経常利益は、全産業で△12.1%（対前年度増減率、以下同じ。）の減益見込みとなっている。

製造業では、生産用機械などが増益となるものの、化学、情報通信機械などが減益となることから、全体では△16.3%の減益見込みとなっている。

非製造業では、卸売、建設など、ほとんどの業種で減益となることから、全体では△7.8%の減益見込みとなっている。

(対前年度増減率：%)

	全規模			
	大企業	中堅企業	中小企業	
全産業	△ 12.1	△ 12.3	△ 10.0	△ 3.2
製造業	△ 16.3	△ 16.6	△ 10.3	△ 5.1
非製造業	△ 7.8	△ 7.7	△ 9.8	△ 0.3

(注) 5・6年度ともに回答があった企業(1,228社)を基に単純集計

4. 設備投資(除く土地、含むソフトウェア投資)

－ 6年度は全産業で25.6%の増加見込み －

6年度の設備投資は、全産業で25.6%（対前年度増減率、以下同じ。）の増加見込みとなっている。

製造業では、生産用機械、化学など、ほとんどの業種で前年度を上回っていることから、全体では32.3%の増加見込みとなっている。

非製造業では、宿泊・飲食サービスなどが前年度を下回っているものの、運輸・郵便、電気・ガス・水道などが前年度を上回っていることから、全体では22.0%の増加見込みとなっている。

規模別では、大企業、中堅企業、中小企業いずれも前年度を上回る見込みとなっている。

(対前年度増減率：%)

	全規模			
		大企業	中堅企業	中小企業
全産業	25.6	25.9	18.9	52.6
製造業	32.3	30.5	50.0	64.9
非製造業	22.0	23.4	△ 0.6	25.0

(注) 5・6年度ともに回答があった企業(1,325社)を基に単純集計

5. 近畿・全国比較

(注) 近畿が「単純集計値」、全国が「母集団推計値」となっているため、単純に比較することはできません。

①企業の景況判断BSI

【原数値】

(前期比「上昇」－「下降」社数構成比：%ポイント)

区 分	近 畿				全 国			
	6/1～3	6/4～6	6/7～9	6/10～12	6/1～3	6/4～6	6/7～9	6/10～12
大 企 業	(△ 2.4)	△ 0.8	8.2	8.0	(△0.0)	0.4	6.6	6.8
中 堅 企 業	(△ 6.7)	△ 5.0	3.8	6.6	(0.2)	△ 1.6	6.7	9.9
中 小 企 業	(△ 14.5)	△ 11.9	△ 3.7	5.6	(△ 13.6)	△ 10.3	△ 2.7	0.1

(注) () は前回 (令和6年1～3月期) 調査結果

②従業員数判断BSI

【原数値】

(期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比：%ポイント)

区 分	近 畿				全 国			
	6/3月末	6/6月末	6/9月末	6/12月末	6/3月末	6/6月末	6/9月末	6/12月末
大 企 業	(23.9)	23.8	22.2	19.5	(28.3)	25.7	22.6	20.7
中 堅 企 業	(40.1)	36.3	33.7	32.0	(41.3)	39.3	35.1	32.4
中 小 企 業	(31.1)	29.2	26.8	26.4	(29.0)	29.9	27.9	27.4

(注) () は前回 (令和6年1～3月期) 調査結果

③売上高・経常利益・設備投資

・6年度

(対前年度増減率：%)

区 分	近 畿			全 国		
	売上高	経常利益	設備投資	売上高	経常利益	設備投資
全 産 業	7.0	△ 12.7	25.6	2.6	△ 1.8	12.1
製 造 業	3.7	△ 16.3	32.3	2.5	△ 4.4	15.4
非 製 造 業	9.2	△ 9.5	22.0	2.7	△ 0.9	10.3
規 模 別						
大 企 業	7.5	△ 12.8	25.9	4.0	△ 1.6	20.6
中 堅 企 業	3.1	△ 10.9	18.9	3.5	△ 6.3	3.4
中 小 企 業	0.5	△ 3.2	52.6	0.9	0.3	△ 2.3

(注1) 売上高は、金融・保険業を除く。

(注2) 設備投資は、ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(注3) 近畿の計数は、5・6年度ともに回答があった企業

(売上高：1,274社、経常利益：1,317社、設備投資：1,325社) を基に単純集計

(参考1) 企業の景況判断BSI (原数値) 業種別計数表

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比：%ポイント)

区 分	6年1~3月 (前回調査)	6年4~6月	6年7~9月	6年10~12月
全 産 業	△ 8.7	△ 6.5	2.1	6.6
製 造 業	△ 14.8	△ 9.4	3.2	10.6
食 料 品	△ 14.3	0.0	△ 8.3	4.2
織 維	△ 5.0	△ 2.2	8.7	4.3
木 材 ・ 木 製 品	△ 44.4	△ 17.6	△ 17.6	0.0
パ ル プ ・ 紙	△ 16.1	6.5	△ 25.8	△ 6.5
化 学	△ 0.9	4.8	1.9	10.6
石 油 ・ 石 炭	0.0	△ 16.7	5.6	22.2
窯 業 ・ 土 石	△ 25.0	△ 33.3	△ 4.2	20.8
鉄 鋼	△ 26.5	△ 27.1	4.2	12.5
非 鉄 金 属	△ 14.0	0.0	△ 2.9	△ 2.9
金 属 製 品	△ 28.6	△ 13.0	14.8	24.1
は ん 用 機 械	0.0	△ 23.8	7.1	7.1
生 産 用 機 械	△ 11.8	△ 17.1	△ 2.4	17.1
業 務 用 機 械	△ 13.8	0.0	8.1	8.1
電 気 機 械	△ 8.2	△ 16.7	16.7	12.5
情 報 通 信 機 械	△ 38.1	△ 11.4	9.1	13.6
輸 送 用 機 械	△ 31.3	△ 12.2	0.0	12.2
そ の 他 製 造 業	△ 9.9	△ 10.2	9.1	12.5
非 製 造 業	△ 4.3	△ 4.5	1.3	3.9
農 林 水 産 業	0.0	△ 11.1	△ 22.2	0.0
鉱 業 ・ 採 石 業 ・ 砂 利 採 取 業	△ 50.0	△ 20.0	0.0	20.0
建 設	4.8	△ 6.9	3.1	4.6
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道	△ 6.3	0.0	10.0	5.0
情 報 通 信	△ 1.8	△ 16.9	6.8	3.4
運 輸 ・ 郵 便	△ 13.0	1.0	1.9	4.9
卸 売 ・ 小 売	△ 14.2	△ 5.5	△ 2.0	△ 0.8
卸 売	△ 14.4	△ 4.8	△ 3.2	2.2
小 売	△ 13.5	△ 7.2	1.4	△ 8.7
不 動 産 ・ 物 品 賃 貸	4.4	△ 8.2	△ 5.3	0.0
不 動 産	5.6	△ 9.2	△ 4.6	1.5
物 品 賃 貸	0.0	△ 5.1	△ 7.7	△ 5.1
サ ー ビ ス 業	△ 2.9	△ 0.3	5.2	11.8
宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス	△ 16.3	30.6	2.8	25.0
生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽	△ 5.9	5.4	10.8	10.8
生 活 関 連 サ ー ビ ス	△ 15.8	0.0	25.0	18.8
娯 楽	6.7	9.5	0.0	4.8
学 術 研 究 ・ 専 門 サ ー ビ ス ・ 技 術 サ ー ビ ス	2.0	△ 5.5	3.6	9.1
医 療 ・ 教 育	△ 4.5	△ 11.5	△ 11.5	△ 3.8
そ の 他 サ ー ビ ス 業	0.0	△ 6.4	11.5	15.4
金 融 ・ 保 険	2.4	△ 2.2	4.5	△ 3.4

(参考2) 従業員数判断BSI (原数値) 業種別計数表

(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比：%ポイント)

区 分	6年3月末 (前回調査)	6年6月末	6年9月末	6年12月末
全 産 業	31.2	29.4	27.1	25.7
製 造 業	24.9	23.8	22.3	19.7
食 料 品	34.7	34.0	29.8	34.0
織 維	15.4	26.1	19.6	15.2
木 材 ・ 木 製 品	16.7	29.4	23.5	23.5
パ ル プ ・ 紙	45.2	23.3	20.0	26.7
化 学	24.0	28.2	23.3	18.4
石 油 ・ 石 炭	40.9	△ 5.6	0.0	16.7
窯 業 ・ 土 石	20.8	16.7	12.5	4.2
鉄 鋼	22.9	10.4	6.3	10.4
非 鉄 金 属	16.3	29.4	32.4	26.5
金 属 製 品	26.5	37.7	35.8	28.3
は ん 用 機 械	33.3	19.0	21.4	21.4
生 産 用 機 械	29.4	19.5	22.0	12.2
業 務 用 機 械	31.0	24.3	21.6	21.6
電 気 機 械	18.4	12.5	14.6	14.6
情 報 通 信 機 械	9.5	9.3	18.6	9.3
輸 送 用 機 械	6.3	24.5	26.5	20.4
そ の 他 製 造 業	33.0	32.6	27.9	24.4
非 製 造 業	35.8	33.2	30.4	29.8
農 林 水 産 業	50.0	11.1	0.0	11.1
鉱 業 ・ 採 石 業 ・ 砂 利 採 取 業	40.0	60.0	60.0	60.0
建 設	54.0	46.5	46.5	43.4
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道	12.5	10.0	10.0	10.0
情 報 通 信	32.7	43.1	44.8	44.8
運 輸 ・ 郵 便	36.0	39.0	30.0	28.0
卸 売 、 小 売	35.1	32.1	28.6	27.8
卸 売	33.9	29.9	26.1	26.1
小 売	37.8	38.2	35.3	32.4
不 動 産 、 物 品 賃 貸	19.0	16.3	16.3	15.7
不 動 産	15.4	11.0	11.0	11.0
物 品 賃 貸	31.4	33.3	33.3	30.8
サ ー ビ ス 業	40.6	38.2	33.9	33.6
宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス	67.4	65.7	57.1	57.1
生 活 関 連 サ ー ビ ス 、 娯 楽	32.4	55.6	52.8	52.8
生 活 関 連 サ ー ビ ス	31.6	53.3	46.7	46.7
娯 楽	33.3	57.1	57.1	57.1
学 術 研 究 ・ 専 門 サ ー ビ ス ・ 技 術 サ ー ビ ス	29.2	27.4	25.5	23.6
医 療 ・ 教 育	22.7	36.0	24.0	28.0
そ の 他 サ ー ビ ス 業	48.1	33.3	29.5	29.5
金 融 ・ 保 険	30.9	25.9	24.7	27.1

(参考3) 売上高・経常利益・設備投資 (令和6年度) 業種別計数表
(対前年度増減率：%)

区 分	売上高	経常利益	設備投資
全 産 業	7.6	△ 12.1	25.6
製 造 業	3.7	△ 16.3	32.3
食 料 品	1.7	△ 18.0	76.3
織 維	4.0	△ 74.5	△ 23.9
木 材 ・ 木 製 品	△ 2.4	△ 39.5	211.4
パ ル プ ・ 紙	2.6	△ 6.0	19.9
化 学	4.2	△ 23.4	21.7
石 油 ・ 石 炭	13.7	15.7	16.1
窯 業 ・ 土 石	6.5	△ 16.4	81.0
鉄 鋼	6.6	5.4	43.9
非 鉄 金 属	6.8	△ 5.0	9.3
金 属 製 品	3.1	16.4	27.7
は ん 用 機 械	1.8	16.0	60.7
生 産 用 機 械	3.8	7.2	55.0
業 務 用 機 械	8.0	6.0	△ 8.7
電 気 機 械	△ 0.9	△ 6.7	68.7
情 報 通 信 機 械	1.4	△ 46.8	20.3
輸 送 用 機 械	△ 0.4	△ 32.0	38.5
そ の 他 製 造 業	3.8	△ 24.7	42.3
非 製 造 業	10.4	△ 7.8	22.0
農 林 水 産 業	△ 1.6	△ 34.4	△ 19.4
鉱 業 ・ 採 石 業 ・ 砂 利 採 取 業	△ 4.8	127.3	△ 13.3
建 設	△ 0.1	△ 12.9	15.5
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道			41.7
情 報 通 信	△ 0.1	△ 2.7	4.8
運 輸 ・ 郵 便	34.8	△ 14.7	34.6
卸 売 、 小 売	10.4	△ 9.5	43.5
卸 売	11.6	△ 12.4	89.2
小 売	4.9	6.3	17.0
不 動 産 、 物 品 賃 貸	7.5	△ 11.5	17.4
不 動 産	6.4	△ 11.9	25.2
物 品 賃 貸	10.9	△ 10.0	△ 19.0
サ ー ビ ス 業	10.2	20.1	△ 1.7
宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス	6.9	△ 8.7	△ 29.4
生 活 関 連 サ ー ビ ス 、 娯 楽	3.1	△ 3.6	25.0
生 活 関 連 サ ー ビ ス	△ 11.1	△ 10.0	27.4
娯 楽	4.6	△ 2.5	24.9
学 術 研 究 ・ 専 門 サ ー ビ ス ・ 技 術 サ ー ビ ス	22.3	41.2	6.8
医 療 ・ 教 育	3.3	△ 19.1	△ 16.5
そ の 他 サ ー ビ ス 業	11.3	△ 0.0	△ 8.3
金 融 ・ 保 険			15.4

(注1) 売上高及び経常利益は、電気・ガス・水道、金融・保険業を除く。

(注2) 設備投資は、ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(参考4) 設備投資のスタンス、資金調達方法

・今年度における設備投資のスタンス (回答社数: 1,474社)

今年度における設備投資について、以下の選択肢から3項目を重要度の高い順に回答を求めた結果は以下のとおりである。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 生産(販売)能力の拡大 | 6. 海外投資 |
| 2. 製(商)品・サービスの質的向上 | 7. 研究開発 |
| 3. 情報化への対応 | 8. 新事業への進出 |
| 4. 省力化合理化 | 9. 維持更新 |
| 5. 環境対策 | 10. その他 |

(回答社数構成比: %)

		1位		2位		3位	
全産業		維持更新	56.3	生産(販売)能力の拡大	50.2	省力化合理化	42.9
	製造業	生産(販売)能力の拡大	57.5	維持更新	55.6	省力化合理化	47.5
	非製造業	維持更新	56.9	生産(販売)能力の拡大	44.6	情報化への対応	44.0
規模別	大企業	維持更新	61.9	生産(販売)能力の拡大	45.3	省力化合理化	42.9
	中堅企業	維持更新	53.7	生産(販売)能力の拡大/省力化合理化			47.3
	中小企業	生産(販売)能力の拡大	57.4	維持更新	52.5	製(商)品・サービスの質的向上	48.8

(注) 上記の選択項目中3項目以内の複数回答による回答社数構成比。以下同様。

・今年度における資金調達方法 (回答社数: 1,418社)

今年度における資金調達について、以下の選択肢から3項目を重要度の高い順に回答を求めた結果は以下のとおりである。

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 民間金融機関 | 6. 企業間信用 |
| 2. 公的機関 | 7. 資産の売却 |
| 3. 株式の発行 | 8. 資産の流動化・証券化 |
| 4. 社債の発行 | 9. 内部資金 |
| 5. リース | 10. その他 |

(回答社数構成比: %)

		1位		2位		3位	
全産業		民間金融機関	69.1	内部資金	67.3	公的機関	24.6
	製造業	民間金融機関	72.1	内部資金	69.0	公的機関	24.0
	非製造業	民間金融機関	66.6	内部資金	65.9	公的機関	25.1
規模別	大企業	民間金融機関	72.9	内部資金	70.8	社債の発行	13.3
	中堅企業	内部資金	67.1	民間金融機関	63.4	公的機関	18.6
	中小企業	民間金融機関	69.7	内部資金	64.4	公的機関	41.2

(注) 金融・保険業を除く。

(参考5) 大阪府下の調査結果
(調査対象企業数・回収率)

	全産業			製造業			非製造業		
	標本 企業数	回 収 率 回 収 率 (%)	回 収 率 (%)	標本 企業数	回 収 率 回 収 率 (%)	回 収 率 (%)	標本 企業数	回 収 率 回 収 率 (%)	回 収 率 (%)
全規模	1,238	1,039	83.9	488	409	83.8	750	630	84.0
大企業	410	389	94.9	171	159	93.0	239	230	96.2
中堅企業	329	285	86.6	106	93	87.7	223	192	86.1
中小企業	499	365	73.1	211	157	74.4	288	208	72.2

(注) 大企業：資本金10億円以上
 中堅企業：資本金1億円以上10億円未満
 中小企業：資本金1千万円以上1億円未満

①企業の景況判断BSI (原数値)

(前期比「上昇」－「下降」社数構成比：%ポイント)

区 分		6年1～3月 (前回調査時) 現 状 判 断	6年4～6月 現 状 判 断	6年7～9月 見 通 し	6年10～12月 見 通 し
全規模	全 産 業	(△ 7.8)	(1.6) △ 6.0	(4.9) 1.6	5.2
	製 造 業	(△ 15.8)	(1.2) △ 9.5	(4.8) 0.0	7.6
	非 製 造 業	(△ 2.4)	(2.0) △ 3.7	(5.0) 2.7	3.7
大企業	全 産 業	(△ 1.7)	(2.8) △ 0.3	(6.6) 7.5	6.4
	製 造 業	(△ 11.0)	(5.5) △ 0.6	(8.9) 7.5	11.3
	非 製 造 業	(4.6)	(0.9) 0.0	(5.1) 7.4	3.0
中堅企業	全 産 業	(△ 8.2)	(2.5) △ 5.6	(7.5) △ 1.4	3.2
	製 造 業	(△ 17.6)	(4.4) △ 7.5	(7.7) △ 4.3	8.6
	非 製 造 業	(△ 3.7)	(1.6) △ 4.7	(7.4) 0.0	0.5
中小企業	全 産 業	(△ 13.4)	(0.0) △ 12.3	(1.5) △ 2.2	5.5
	製 造 業	(△ 18.9)	(△ 3.9) △ 19.7	(0.0) △ 5.1	3.2
	非 製 造 業	(△ 8.6)	(3.3) △ 6.7	(2.9) 0.0	7.2

(注1) 回答社数：1,039社

(注2) () は前回 (令和6年1～3月期) 調査結果

②従業員数判断BSI（原数値）

（期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比：％ポイント）

区 分		6年3月末 （前回調査時） 現 状 判 断	6年6月末 現 状 判 断	6年9月末 見 通 し	6年12月末 見 通 し
全規模	全 産 業	(30.3)	(25.8) 30.9	(22.8) 28.1	26.3
	製 造 業	(24.8)	(22.2) 26.8	(19.5) 23.2	20.2
	非 製 造 業	(34.0)	(28.3) 33.5	(25.0) 31.4	30.4
大企業	全 産 業	(26.5)	(21.4) 25.9	(17.8) 23.3	19.9
	製 造 業	(18.5)	(15.1) 24.5	(11.6) 20.8	15.7
	非 製 造 業	(31.9)	(25.8) 26.9	(22.1) 25.1	22.9
中堅企業	全 産 業	(37.0)	(32.6) 38.2	(25.4) 36.4	35.4
	製 造 業	(36.7)	(33.3) 34.4	(24.4) 32.3	30.1
	非 製 造 業	(37.1)	(32.3) 40.1	(25.8) 38.5	38.0
中小企業	全 産 業	(29.1)	(25.0) 30.4	(25.5) 26.8	26.2
	製 造 業	(24.0)	(22.3) 24.7	(23.5) 20.1	18.8
	非 製 造 業	(33.5)	(27.3) 34.8	(27.3) 31.8	31.8

（注1） 回答社数：1,021社

（注2） ()は前回（令和6年1～3月期）調査結果

③売上高・経常利益・設備投資（令和6年度）

（対前年度増減率：％）

区 分		売上高	経常利益	設備投資
全規模	全 産 業	8.8	△ 13.0	10.1
	製 造 業	3.8	△ 21.5	△ 5.3
	非 製 造 業	11.1	△ 7.0	17.9
大企業	全 産 業	9.3	△ 13.2	10.1
	製 造 業	3.9	△ 21.9	△ 7.4
	非 製 造 業	11.7	△ 6.8	18.8
中堅企業	全 産 業	3.1	△ 12.1	10.3
	製 造 業	2.4	△ 13.7	41.9
	非 製 造 業	3.4	△ 11.3	△ 2.2
中小企業	全 産 業	2.7	5.4	32.7
	製 造 業	△ 0.4	△ 0.2	1.7
	非 製 造 業	6.2	12.8	101.6

（注1） 売上高及び経常利益は、電気・ガス・水道・金融・保険業を除く。

（注2） 設備投資は、ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

（注3） 5・6年度ともに回答があった企業

（売上高：685社、経常利益：673社、設備投資：717社）を基に単純集計